

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|---------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 4075800468 | | |
| 法人名 | 有限会社リフレッシュ | | |
| 事業所名 | グループホーム彩 | ユニット名 | |
| 所在地 | 福岡県嘉麻市口春735-3 | | |
| 自己評価作成日 | 平成28年7月7日 | 評価結果市町村受理日 | 平成28年8月29日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|----------------------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 一般財団法人 福祉サービス評価機構 | | |
| 所在地 | 福岡市中央区薬院3-13-11 サナ・ガリアーノ6F | | |
| 訪問調査日 | 平成28年7月22日 | 評価確定日 | 平成28年8月25日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <p>ご利用者様の笑顔が1回でも多く見れるように努力しています。ご家族との信頼関係を大切にし彩ファミリーとして何でも言える環境づくりに力を入れています。スタッフが笑顔になればご利用者もご家族も笑顔になれる。温かなグループホーム彩です。</p> |
|---|

【外部評価で確認した事業者の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|---|
| <p>“グループホーム彩”の玄関には“つばめ”が巣を作り、雛鳥が元気に巣立っている。地域の方々も気軽に遊びに来て下さり、「うちの山に“わらび”を取りにおいで」と声をかけて頂く事もあり、有難く思っている。日々の生活では、ご利用者への寄り添いを続け、ご利用者の願いを引き出し、少しでも笑顔で生活できるように努めている。“楽しみ”に対する職員のアイデアは溢れており、焼肉会やバイキング、温泉、小倉城見学なども楽しめた。終末期には管理者(看護師)が夜間も付き添い、主治医や訪問看護師、家族、職員との連携を密に取り、最期まで温かいケアを続けている。お盆前には、ご利用者も一緒に灯籠を作り、亡くなられた方にも変わらず想いを寄せ、手を合わせている。日々、ご利用者個々の行動の背景にあるものを丁寧に分析し、解決策の検討を続けており、今後も要望集などを作り、実践状況の記録(彩の宝物)に繋げていく予定である。</p> |
|---|

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|---|--|---|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念を2回/月のミーティングで唱和し理解を深めている。新人スタッフのオリエンテーション時から力を入れ源泉となっています。 | 職員全員、「笑顔、寄り添い それが私たちの幸せです」という理念を大切にされている。ご利用者と職員が寄り添い、笑顔の多い生活になっており、好きな事も継続されている。幼稚園児との交流も楽しまれ、研修の受け入れ等も行い、ホームとしてできる事を実践されている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 嘉麻市の行事には必ずお声かけいただいたり自治会や子供会、幼稚園、高校生との交流。地域住民として挨拶。取れた野菜や漬物、お花等地域の皆さまから戴いています。又、わらび取や芋ほりも声をかけてもらっています。 | 開設以来、地域の方々と共に歩いてこられた。地域の方から手作り味噌や玉ねぎ等の差し入れもあり、庭の手入れもして下さっている。子供会や幼稚園児との交流も継続し、楽しいひと時を過ごされている。高校生の訪問もあり、文化祭の時は椅子を用意して下さっている。 | 地域の方との交流を大切にされており、今後は地域の方や幼稚園等も一緒に、ホーム主催の文化祭(作品展等)を検討していく予定である。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 「近所の人に困っちゃう人がおる」と相談に訪問したり、「ここに行ったらどうかしてくれる」と相談に来られることもあり。ご相談、ご紹介のケースが多くなっています。又、市へつなぐこともあります。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議のメンバーも長年の顔見知りであり、仲良く情報交換できています。新メンバーの方もすぐに仲良くなられ活発な意見交換もできています。 | 会議の時に、介護ロボットを含む福祉用具等の勉強会が行われている。参加者の方々の知識が深まり、介護の視点も広がり、地域の認知症カフェの見学を行うこともできた。ホームの取り組みを理解して頂き、ボーリング大会や忘年会も一緒に楽しまれている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 地域密着型のケア会議も定期的に行われています。顔なじみの関係も構築できてます。嘉麻市の取り組みの中でも協力できるようにしています。彩だよりも発行し配達させていただいています。 | ケア面の相談時も親身に考えて下さっている。地域包括の要請で、県立大学看護学部の研修を受け入れたり、嘉麻市の地域密着型定例ケア会議で見学要請があり、ホームの取り組みや書類様式等も見て頂いた。災害時の発電機も市から提供して頂いている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | どうゆう事が拘束になるのか。本人が不快と思われれば拘束ですと常に拘束をしない、させないケアを考えています。拘束をしないためにはどうすれば良いのかを考え、ご家族にリスクを含め相談しています。 | ご利用者の心身状況や要望を把握し、「行きたい場所」「やりたい事」等の実現に努めており、ご利用者の方々は穏やかに過ごされている。行動の背景を分析すると共に、更なる健康維持のために、ご本人と真摯に話し合いを続けている方もおられる。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待の意識を持てるようにホーム内研修を行っています。虐待が起こらないように職員のストレスを改善し防ぐ努力を随時おこなっています。 | | |

| 自己 | 外部 | | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | (6) | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | ミーティングや伝達研修で理解している。管理者はご家族に説明できるように市民後見人養成講座を受講している。 | 管理者は市民後見人養成講座を受講し、職員に伝達している。制度のパンフレット等をホームに備え付け、入居時に家族に説明している。入居後も制度の必要性の確認が行われ、制度を利用している方もおられる。 | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には後でトラブルが生じないようにわかり易い言葉に置き換えて説明しています。1度二部持ち帰っていただき再度わからないところがない事を確かめて契約していただいています。 | | |
| 10 | (7) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族がご意見や要望など言いやすい関係作りに力をいれています。家族会での交流も深まり面会も多く要望がいつも聞こえています。 | 家族会(年1回)を継続しており、毎回楽しい企画の中で家族同士の交流が続いている。日々の面会時にも管理者や職員が家族の思いを親身に伺い、解決策の検討をしている。"夢を叶えようイベント"と名付け、車椅子を利用する方も一緒に小倉城の見学旅行を楽しまれた。 | |
| 11 | (8) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 代表は職員は宝物と捉えています。スタッフの意見を大切にさせていただいています。職員以外での交流もあり楽しみとなっています。 | 運営者は職員の気持ちを大切にしている。職員からは色々なアイデアが聞かれ、新人職員の意見にも「それはいい!」と褒めている。27年度から、職員が会議の司会や書記を順番に行い、意見を伝えやすい環境が更に作られている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の自己評価を基準とし個別面談も取り入れ本人の意見を大切にし常に業務内容の見直しや改善など、できる限り対応している。 | | |
| 13 | (9) | ○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している | 職員採用にあたり制限はありません。仕事への意欲や優しさを大切にしています。本人の権利を守りできる限りの応援体制になっています。 | 職員の採用にあたり、性別、年齢等の制限は行っていない。その方の介護についての考えを伺いながら、笑顔や優しさ等を大切に採用している。職員個々の特技を発揮して頂くと共に、職員同士の思いやりもあり、表裏の無い職員個々の誠実さを運営者は高く評価している。 | |
| 14 | (10) | ○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる | 日々の業務の中で本人の思いを大切にさせていただき寄り添う姿勢になれるよう取り組んでいます。 | 運営者は、「利用者が一番に、利用者を大切に、利用者により多く関わって下さい。低姿勢で・・・」等を今まで指導していたが、ご利用者個々の尊厳を大切にされた職員が勤務しており、最近では指導の機会も減っている。「笑顔で寄り添う」姿勢で、日々のケアが続いている。 | |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|-----------------------------|----|--|--|-------------------|--|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 15 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新人教育にも力を入れ交換ノートを作り聞きやすい体制を整えています。月2回のミーティングや業務として外部研修にも行く機会を作る等配慮してます。 | | |
| 16 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会やブロック内に個別交流の場も大切にしています。 | | |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 17 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 家族の来所が多い中、なるべくご本人にも来ていただくようお願いしています。ご本人との信頼関係を結びやすくご本人との関わりを早期より結ぶことから始めます。ご本人を知ることが大切だと実感しています。 | | |
| 18 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 見学の段階よりご家族の思いに添えるようお手伝いさせていただいています。ご家族が抱えている不安など早期に対応し安心してもらってます。面会時のコミュニケーションを大切にし情報交換を行ってます。 | | |
| 19 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 早め、早めの対応を心がけています。瞬時のご家族の思いを理解できることより一つずつ始めゆっくりご家族に選択してもらっています。 | | |
| 20 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 必ず「ありがとうございます」「助けてください」など場面、場面で支えあいの言葉が多く聞かれています。 | | |
| 21 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様に支えていただいています。家族がいないと始まらないというくらい絆で結ばれています。面会も多くご家族の皆さまが働いてくださっております。 | | |

| 自己 | 外部 | | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | (11) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 自治会行事に参加することで知人にお会いしご挨拶を交わされています。又、長年通われた美容室や病院などの関係の継続を大切にしています。 | ご利用者との会話の中で生活歴を把握すると共に、「昔行っていた商店街を見たい」「家に帰りたい」「両親のお墓参りに行きたい」等の願いを叶えるように努めている。馴染みの行事である“おしおいとり(川の土を取って供養し、無病息災等を願う)”にもお連れしている。 | |
| 23 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 常時トラブルの介入をしています。仲良くなれるよう声掛けしたり、応援できるように設定しています。又、同室になることで安心を得るご利用者もいらっしゃいます。 | | |
| 24 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | お電話、お手紙、OB会など。終了しても「何かできることがあったら手伝わしてね」とご本人がいる時と同様の支援が沢山続いています。施設内の畑で野菜栽培や周辺草刈り、道路整備まで行っています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 25 | (12) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 一人一人のペースを大切にしています。少しのサインも見逃さずにケアに取り入れています。必ずご家族の了解のもと共有しています。 | センター方式を活用し、ご利用者の生活歴や思いを大切に把握している。意思疎通が難しい方も優しく声かけし、表情や様子から思いを汲み取るようにしている。「行きたい場所」「やりたい事」等、語られた思いや言葉を職員同士で共有している。 | 今後は更に、想いや希望、実践状況を個別に記録していくと共に、ご利用者全員でレクや集いを行ったり、ホームの庭でお茶や食事をする機会も増やしていきたいと考えている。 |
| 26 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | センター方式には宝物が一杯です。本人の好きなもの、好きなことを見つけ出し情報を共有しています。 | | |
| 27 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人一人の好きなことがいっぱい引き出せるように現状を把握しそれぞれのペースに合わせ柔軟に対応しています。 | | |
| 28 | (13) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人の力や楽しみとなるように日々ケアの中や課題に向かってケアプランを立案している。日々の生活の中での会話が重要なポイントと考えています。 | 野菜作りや草むしり等の役割と共に、お酒等の嗜好の楽しみも計画に盛り込み、笑顔が増えるように努めている。医師の指示も頂き、廊下2往復、足上げ、部屋でマッサージなど、具体的なリハビリ内容も盛り込まれている。管理者が自宅訪問し、計画を説明する家族もおられる。 | |

| 自己 | 外部 | | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別ケアでの気づきにより即改善、即実践。結果を見極め情報の共有を図っています。P-D-C.Aのサイクルで早急に見直しご家族に相談し、本人の思いに近づく努力をしています。 | | |
| 30 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人、ご家族の思いを大切に、その日の状況に合わせて柔軟に対応しています。不可能なことでも努力次第で可能に変えていく努力をしています。 | | |
| 31 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 本人の行きたいところへの外出、JR旅行や外食、馴染みの駅、場所など本人の楽しみを増やせるよう努力し地域のボランティアさんにもご協力いただいています。 | | |
| 32 | (14) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 主治医との連携も深く、即刻対応して頂いています。早期発見でき安心して生活できています。看取りのサポートも大きく「ここが最期でよかった」「安心してお任せしています」などの声も聞かれています。 | 医師との連携が取れており、管理者と職員も心強く思っている。職員の日々の観察力も高く、昼夜含めて管理者(看護師)への報告も密に行われ、早期発見・早期対応に繋げている。受診結果の共有も家族とできている。 | |
| 33 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 経営者が看護職であり早期対応、連絡が取れています。併設施設も看護師が2名在中しており訪問看護との協力体制も整っています。家族にも連絡し必要あれば同行していただいています。 | | |
| 34 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は、状態把握のため病院に見舞っています。又、食事介助、マウスケア、洗濯物回収などさせていただいています。主治医との連携のスムーズに介入させていただき安心して退院の運びとなっています。 | | |
| 35 | (15) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時より重度化、終末期の確認をいたします。又、状況に合わせて主治医より説明を受け同意書にて再確認しています。ご家族の希望に寄り添って進めています。 | 全員の方が「最期までホームで」と希望されている。24時間の往診や訪問看護体制もあり、終末期には必ず看護師が夜間も付き添っている。治療・療養・ケア方針については話し合いの場を何度も作り、家族の心の変化に寄り添っている。 | |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|--|--|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 36 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 日々急変がおこることを想定し指導しています。応急処置や初期対応のマニュアルもありミーティングにおいては毎回、看護を入れ実践としています。 | | |
| 37 | (16) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回消防設備業者の方に指導を受け昼夜の訓練を行っています。併施設との連携もできています。初期消火は誰でも迅速に慌てずできるように都度水消火器で訓練をしています。 | 防災対策の検討の中で、職員全員が理解して迅速に行動できるように“表現をシンプル”にするなど、マニュアルの見直しを続けている。自動通報で消防署、併施設、地区の代表や近所の方、稲築病院、家族との協力体制も取られており、水・ビスケツト・缶詰等を準備している。 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 38 | (17) | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 日々の中での言葉使いは気を配り、尊厳を持ち、一人一人の人格を守って接するように配慮しています。本人の意見に合わせ傾聴し納得して頂けるよう努力しています。 | “笑顔、寄り添い それが私達の幸せです”という理念の通り、職員はいつも優しい笑顔で接している。羞恥心に配慮し、排泄時はカーテンやドアの開閉に気をつけており、ご利用者の個人情報管理も徹底している。 | |
| 39 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人の意見が自己決定しやすいように選んでいただいたり、言いやすいような働きかけをしています。 | | |
| 40 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その状況にあわせて優先順位を決定しています。天候やご家族の希望にも対応できるようにしています。 | | |
| 41 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | お化粧品道具を買いに行ったり、本人が欲しいものを買物にでかけ、好きなものを購入して頂いています。お洒落の日があり顔そり等喜ばれています。 | | |
| 42 | (18) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食べたいものを献立に入れたり外食にでかけたり、おやつでスイーツを食べに行くことも喜ばれています。又、ホームではおしぼりの用意、テーブル拭き、お膳拭きなど片付けも手伝ってくださいます。 | 調理担当の方が手作りしている。季節の献立を考え、食物繊維も豊富で、バランスも考えられている。ご利用者も味見やテーブル拭き等をして下さり、季節に応じて梅干しやらっきょう作りも一緒に楽しまれている。 | |

| 自己 | 外部 | | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食べる量、水分のイン・アウトまで細かく計算し状況把握し疾患との関連も観察しています。一人一人の状態、アレルギーなど調理方法や食事形態にも気を付けています。 | | |
| 44 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 個人の状況にあわせ介助、見守り、確認を行っています。特に看取り時には注意をし1～2時間おきにマウスケアにて口臭、乾燥、舌苔に気を付けます。 | | |
| 45 | (19) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄パターンを観察し本人の状況にあわせ誘導を行い失禁を予防しています。又、紙おむつよりショーツに移行できた方やトイレでの排泄が可能になられた方もいます。 | 便座の前方に手すりを付け、排泄時の立ち上がりかスムーズにできるようにしており、布の下着を着用し、排泄が自立している方もおられる。紙オムツ使用の方も陰部洗浄を毎日行うと共に、自立に向けて、職員間の情報交換を続けている。 | |
| 46 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 水分強化や飲食物の工夫もありますが、オリゴ糖を使用したりトイレに座っていただくなど習慣づけも行っています。(肛門マッサージ、腹圧) | | |
| 47 | (20) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 一日おきの入浴を実施していますが、本人の希望、タイミングなど随時本人の状況にあわせ入浴を楽しんでいただいています。 | 入浴日以外は、リビングで足浴マッサージが行われている。入浴時は職員との会話が弾み、季節に応じて屠蘇湯や菖蒲湯、柚子湯、ヨモギ湯等も楽しまれている。体調に応じてリクライニングできるシャワーチェアを活用し、耳栓等も使用し、安心して入浴できる工夫を続けている。 | |
| 48 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 本人のペースをも守り不安なく安眠できるように同室にしてみたりリビングでの対応も可能にしています。 | | |
| 49 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | お薬ファイルを確認する習慣付けを行っています。内服変更時や増量、減量時には本人の変化に注意しています。誤薬防止にて3回チェックしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 外部評価 | | |
|----|------|--|---|--|
| | | 自己評価 実践状況 | 実践状況 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 50 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 野菜苗植えから収穫を楽しまれたり散歩、リハビリ、洗濯たたみ、外食、外出など希望に添えるようにしています。夜のイルミネーションや花火大会見学も喜ばれました。 | |
| 51 | (21) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 本人が外出したい希望があれば、人員を増員したり、ご家族からご協力いただいたり、又、ボランティアさんのお手伝いを戴きながら実行に移しています。 | 庭のお花や菜園の手入れをされる方もおられ、日常的にホーム周辺の散歩をされている。隣接する病院の敷地内には桜並木や藤の花があり、季節の花を楽しまれている。手作りのお弁当を持って、四季折々の花見に出かけ、夜のイルミネーション見学、燈籠まつり、五平太太鼓見学、歴史資料館のひな祭り見学等に行かれている。 |
| 52 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 小口預り金の中で欲しいものを買うこともできています。 | |
| 53 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人の希望によりお電話されたり、年賀状をかかれたりされています。又携帯電話を所持されている方もいます。 | |
| 54 | (22) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関先に季節のものや、飾り物、お花を設置することで季節感を回想していただいています。BGMで口ずさむ曲が流れています。 | 玄関前の花壇が畑に変わり、季節の野菜が収穫できる喜びの機会になられている。リビングは天井が高く、開放感があり、広い廊下を使ってリハビリをされたり、施設から頂いた卓球台も活躍している。亡くなられた方や家族の方を思い、初盆の時には灯籠を手作りしている。 |
| 55 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 玄関先のベンチで心地よい風にあたりたり足湯を楽しんでいただいています。リビングのソファでも寛いでいただいています。 | |
| 56 | (23) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 馴染みの物や、ご家族が作られた作品などを飾っています。又、長年過ごした愛犬と一緒に過ごせるようにして、安心した生活を提供させていただきます。 | 居室のドアに折り紙で折ったお花や鶴を飾られている。居室には家族写真や遺影を置かれている方や、愛犬と過ごされている方もおられ、愛用のまくら、お茶碗、お箸と共に、ダンスやご本人の作品(押し花など)、本等を持ち込まれている。 |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|----|--|---|------|-------------------|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 57 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>安全を前提とし一人一人のやれる力を把握し少しずつでも意欲がもて、やれる力が発揮できるよう日々改善努力してます。又、リスクを排除しながら長い廊下での歩行訓練や滑車訓練なども取り入れています。</p> | | |

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|--|----|---|--|
| 58 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 65 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 59 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 66 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 60 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 61 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 69 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 63 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 70 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 64 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | |